

平成 30 年度 地域ケアプラザ事業計画書

1 施設名

横浜市白根地域ケアプラザ

2 事業計画

今年度、地域ケアプラザの管理運営をどのようにおこなっていくのか、具体的に記載してください。

以下、地域ケアプラザ事業実施評価との共通部分

1 全事業共通

地域の現状と課題について

白根地域ケアプラザの担当圏域は帷子川に流れ込む中堀川の両サイドの丘陵地が住宅地として昭和 40 年代頃から開発された白根地区と、国道 16 号線北側の興和台団地、猪子山緑地がある川島町になります。

白根地区は、町内会自治会連合会と地区社会福祉協議会が一体となって地域の主な行事や活動をすすめています。川島町の担当圏域は、興和台自治会館、猪子山町内会館を拠点とした活動が活発に行われています。どちらの地域も住民の高齢化にともない一人暮らし世帯や高齢者世帯が増加していて、これら的高齢者に対しての見守り活動や元気な高齢者の健康を維持するための活動支援の課題があります。また、子育て世代のふれあい・交流の場の不足や住民活動を担う人の高齢化が進み次の担い手になる後継者が不足している現状があります。

(1) 相談（高齢者・子ども・障害者分野等の情報提供）

- ・ 高齢、障害、子育ての各分野の相談に対応できるように各種制度の仕組みを把握して、職員が一律に窓口対応を出来るように相談受付表を活用し明確な聞き取りが行えるようにしています。
- ・ 老人会、食事会、子育てサロン、エリア内の関連施設を訪問して福祉保健情報の交換と提供を行い白根地域ケアプラザ総合相談の情報量を増やします。
- ・ 広報紙、ホームページを通して情報発信が出来るように毎月内容を更新して発信し、関係各機関へ配布していきます。

(2) 各事業の連携

- ・ 毎朝のミーティング、毎月の所内リーダー会議、地域包括支援センター、地域活動交流、生活支援コーディネーターで5職種会議等を定期的で開催し地域支援に関して、日常的に情報共有をすすめ、お互いの動きを見える化し地域のニーズに迅速に対応出来るよう努めて参ります。
- ・ 地域活動交流部門と生活支援コーディネーターが聞き取った地域ニーズを共有検討し生活者の視点を取り入れた事業を企画、展開し、ニーズの内容によっては地域包括支援センター3職種の専門性を活かした共催事業にも取り組んでいきます。
- ・ 各事業の展開の中から支援が必要な個人、団体、エリア等のニーズを抽出し新たな事業展開、支援ネットワークを構築して参ります。

(3) 職員体制・育成、公正・中立性の確保

【職員体制】

・ 所長、地域包括支援センター三職種、地域活動交流コーディネーター、生活支援コーディネーターの常勤職員の欠員が発生しないように適切に配置していきます。

【職員の育成】

・ 育成を目的として管理者と職員との面談を年2回行います。法人内、法人外研修には積極的に出席して職員の資質向上に努めます。

【公正・中立性の確保】

・ 朝礼・ミーティング・部内会議等で利用者への適切な事業者情報の提供方法等の確認を行います。

(4) 地域福祉保健のネットワーク構築

- ・ 地域の組織団体（白根地区町内会自治会連合会、白根地区社会福祉協議会、白根地区民生委員児童委員協議会等）の定例会議等に参加して情報交換、情報提供を行って地域ネットワークの資源を開発します。
- ・ 自治会ですすめている見守りネットの役員会、食事会等に定期的に参加して、後方支援活動を継続していきます。
- ・ 白根地区社会福祉協議会と連携して地域の災害時要配慮者に関する事を通して互助、共助に関して協働して参ります。
- ・ 地域の福祉保健関連施設（障害者施設、保育園）、学校、市民利用施設等と連携して地域ネットワークの活動拠点情報を収集します。

(5) 区行政との協働

- ・ 第3期旭区地域福祉保健計画白根地区計画の推進支援を旭区役所・旭区社協と協働して取り組みます。
- ・ 毎月実施している旭区福祉保健センターとの定例カンファレンス等を通して、旭区の運営方針や最新の行政情報を的確に把握することで、行政と一体となって事業をすすめていきます。

2 地域活動交流事業

(1) 自主企画事業

- ・ 自主事業を通じて福祉保健活動の開発、実施や新たな地域福祉のための取組を地域の実情やニーズに合わせて行っていきます。
- ・ 高齢者、子ども、障害分野の事業をバランスよく実施して、地域活動に貢献できる自立化の働きかけを行っていきます。
- ・ 自主事業の開催には具体的な目標（数値・成果）を設定し、事業開催後に自己評価を行い次のステップにつなげていきます。

(2) 福祉保健活動団体等が活動する場の提供

- ・登録団体の部屋利用は話し合いで決めていくことで多くの団体が利用できる機会の提供をすすめていきます。
- ・地域交流室の利用方法、予約空き情報を館内に掲示して多くの方が利用できるように利用促進をすすめます。
- ・福祉保健活動として、団体Ⅱには日頃の活動の成果を発揮できるような場の提供を行います。団体Ⅰには5職種がそれぞれ地域の声を拾い挙げ団体が活動の場と幅を広げていけるよう提案し、コーディネートしていきます。

(3) ボランティアの育成及びコーディネート

- ・旭区社会福祉協議会や地域の福祉保健関係団体と情報交換をしてボランティア養成講座を企画していきます。
- ・登録して活動しているボランティアを対象に、活動内容に合わせたフォローアップ研修を企画して行います。
- ・よこはまシニアボランティアポイントの登録講習会を開催して高齢者のボランティア活動を促進、支援していきます。
- ・団体及び個人ボランティアの登録を促進して活動の場へのコーディネートをすすめていきます。

(4) 福祉保健活動等に関する情報収集及び情報提供

- ・白根地区の福祉保健活動団体や人材等の社会資源（地区社協・連合町内会・地区民児協・地域のサロンや昼食会、配食サービス等）を把握して関係機関への毎月の広報紙の配布等、定期的な情報提供を行います。
- ・旭区役所、旭区社協からの情報提供を活用して地域を支援していきます。
- ・白根地域ケアプラザ登録団体の会を開催して情報の提供と交換を行います。
- ・毎月広報紙「ふれあい広場」を発行するとともにホームページを随時更新して白根地域ケアプラザの活動状況を提供します。

3 生活支援体制整備事業

(1) 事業実施体制

- ・地域活動交流コーディネーター、生活支援コーディネーター、地域包括支援センター3職種それぞれの専門性を活かして、生活支援体制整備事業に取り組みます。
- ・旭区の地域包括ケア推進担当、旭区社協の第1層生活支援コーディネーターと連携して体制整備をすすめます。

(2) 地域アセスメント（ニーズ・資源の把握・分析）

- ・白根地区の地域状況を把握・分析するために、地域アセスメントに適した地域アセスメントシートを作成して、地域アセスメントをすすめていきます。
- ・住民主体の地域活動や生活支援サービスを提供している圏域内の状況を把握してリストにまとめていきます。
- ・地域のニーズを知るために地域の自治会、町内会、老人会、民児協、地区社協の定例会、活動団体の活動場所に参加します。

(3) 連携・協議の場

- ・生活支援コーディネーターが、介護予防に関わる、多様な主体による多様な取組のコーディネートを行う事で、元気な高齢者などが担い手として活動する場の確保や関係者間の情報を共有できるネットワークの構築が出来る体制を目指します。
- ・地域での課題が上がった場合、5職種で話し合い、どの様に解決していくべきか次の展開を話し合います。

(4) より広域の地域課題の解決に向けた取組

- ・白根地区に隣接する地域課題を共有する為に、第1層生活支援コーディネーターや隣接する地域の第2層生活支援コーディネーターと検討して取り組んでいきます。

4 地域包括支援センター運営事業

(1) 総合相談支援業務

①地域におけるネットワークの構築

- ・担当圏域内の町内会・自治会へ積極的に出向いて近隣住民との顔の見える関係づくりをすすめて、生活圏域内のネットワーク構築につなげていきます。
- ・担当圏域内及び周辺の医療機関、薬局、介護保険サービス事業所等を定期的に訪問して顔の見える関係作りを行い、総合相談の際、迅速に支援ネットワークが築ける様にします。
- ・社会福祉士が旭区徘徊 SOS ネットワーク協賛店と連携したり、保健師がクリニック、診療所と連携したり主任ケアマネジャーがサービス事業所と連携を取ったり、と、各々の専門性を活かして地域のネットワークの構築支援に努めます。

②実態把握

- ・地域包括支援センターが直接訪問、相談対応する個別の実態把握と地域行事や会合を通して把握したニーズ、生活支援コーディネーターの聞き取ってきた個別ニーズ、圏域のニーズ、インフォーマルサービス等の実体を共有把握していきます。
- ・行政資料等の各種統計資料から圏域の情報を収集して地域の実態把握をすすめていきます。
- ・講座や教室の開催時にアンケートを実施して、どのような支援が必要か、どのような情報が求められているのかを把握していきます。

③総合相談支援

- ・高齢者に関するさまざまな相談を受けとめ、相談内容を的確に把握して対応していきます。その場で解決できるものはその場で解決し、解決できないものは関係機関（行政機関、医療機関、介護保険事業者等）につないでいきます。必要に応じて継続的にフォローしていく体制を作っていきます。
- ・高齢、障害、子育ての各分野の相談に対応できるように各種制度の仕組みを把握して、職員が一律に窓口対応を出来るように相談受付表を整備しています。

（２）権利擁護業務

①成年後見制度の活用促進・消費者被害の防止

- ・成年後見制度をはじめとする権利擁護事業や消費者被害保護など関連する法制度を理解し、それに基づく相談への的確な見立てにより、区役所・区社協等の担当部署へつなぐ等適切な支援を行っていきます。
- ・成年後見制度等の普及啓発に取り組んでいくため、専門家による相談を企画、実施していきます。
- ・親族申立支援にあたり第三者後見人や家裁への手続きが必要な場合には適切なアドバイスをしていきます。

②高齢者虐待への対応

- ・早期に発見、対応できるように地域住民、介護保険事業者、医療機関等との情報共有ができる関係づくりに努めます。
- ・横浜市高齢者虐待防止事業指針に基づいた対応をすすめていきます。
- ・虐待事例に対し、旭区と支援の方向性を共有し、区との役割分担に基づき対応して適切な支援を行っていきます。

③認知症

- ・旭区福祉保健センター及び関係機関と協働して、旭区徘徊ＳＯＳネットワークの普及啓発活動を継続し、エリア内でのＳＯＳ協賛店の登録数を増やします。また、既存のＳＯＳ協賛店に随時伺い、主旨を再認識していただき、協賛店とケアプラザの顔の見える関係づくりを行っていきます。
- ・認知症の正しい理解の促進のため、認知症サポーター養成講座や講演会の開催を行います。
- ・認知症の人と家族が安心して暮らせるように家族会や地域での居場所づくり等を検討しネットワークの構築に努めていきます。

（３）包括的・継続的ケアマネジメント支援業務

①地域住民、関係機関等との連携推進支援

- ・旭区福祉保健センター及び関係機関と協働して、旭区徘徊ＳＯＳネットワークの普及啓発活動を継続します。
- ・認知症の正しい理解の促進のため、認知症サポーター養成講座や講演会の開催を行います。
- ・認知症の人と家族が安心して暮らせるように家族会等を開催してネットワークの構築に努めていきます。

- ・災害時要配慮者への支援を白根地区社協と協働で取り組み、有事への対応の検討を通して、暮らし続けられる町づくりに取り組んで参ります。

②医療・介護の連携推進支援

- ・担当圏域内の医療機関、介護保険関係機関等を定期的に訪問して、白根地域ケアプラザの活動を紹介して、情報交換を行います。
- ・医療相談室からの退院調整依頼に関し、ケアマネジャーとの調整を行い、円滑な在宅生活復帰への支援を行います。
- ・介護サービスの担当者会議、カンファレンス等で、必要に応じ、医療関係者等と連携した支援体制を構築します。
- ・医師とケアマネジャーとの連絡会を開催し医療連携を促進します。

③ケアマネジャー支援

- ・ケアマネジャーが抱えているケースに対して、地域ケアプラザ協力医業務を広報して医療的な助言が得られるように支援します。
- ・担当圏域が隣接する左近山地域ケアプラザ、鶴ヶ峰地域ケアプラザと定期的に連絡会を開催して、ケアマネジャーのネットワーク支援、ケアマネジメント研修、医療連携の機会を提供していきます。

(4) 多職種協働による地域包括支援ネットワークの構築・地域ケア会議

多職種協働による地域包括支援ネットワークの構築・地域ケア会議

- ・必要に応じて担当圏域内の個別ケースの地域ケア会議を開催して、専門職、地域支援者、当事者間との情報や課題を共有してネットワークの構築に努めます。
- ・包括レベル地域ケア会議で地域支援の目的を共有し地域内での役割分担を明確にし地域力を高める支援を行って参ります。
- ・各職種の専門性や視点を活かして課題解決に向け、協働して取り組みます。

(5) 介護予防ケアマネジメント（指定介護予防支援事業・第1号介護予防支援事業）

介護予防ケアマネジメント（指定介護予防支援事業・第1号介護予防支援事業）

- ・介護予防支援計画を策定する場合は、地域包括支援センター内で随時カンファレンスを行い、アセスメントの整合性を検討して、できるだけ自立度の高い生活ができるように適切なプランを作成します。
- ・介護予防支援計画を委託する場合は、担当者会議等に出席して適切なケアマネジメントができるように支援していきます。

(6) 一般介護予防事業

一般介護予防事業

- ・地域住民と一体となって介護予防講座を定期的に行っていきます。
- ・要介護状態にならないように、運動・口腔ケア・栄養改善・認知症予防について地域に情報提供して、地域の方が主体的に介護予防に取り組めるように支援していきます。
- ・従来行われている地域の介護予防事業の情報を収集して支援していきます。

その他

エリア内高齢・障害施設との連携

障害施設と行事を通じて、交流を図り情報の共有を進めていきます。
地域密着型介護保険事業所の運営推進会議出席に参加し各種情報提供、課題共有検討し、担当エリア内の高齢者支援ネットワークの充実に努めます。

以下、地域ケアプラザ事業実施評価との相違部分

施設の適正な管理について

ア 施設の維持管理について

- ・指定管理者として、利用者に施設を快適安全に利用していただくとともに、施設や設備の価値をできる限り維持できるように計画的に管理してまいります。
- ・運営法人として、5S（整理、整頓、清掃、清潔、躰）1U（美しい）の取組を推進しています。職員一人ひとりが施設管理への意識を持つと共に、利用者の視点に立った設備の安全、快適な環境、性能性及び快適性に配慮しながら、きめ細かいメンテナンス対策をすすめています。
- ・施設の管理については、日常点検として巡視点検を行い、定期点検については、専門業者に委託して実施します。点検結果等については報告書等を作成します。設備管理は、設備・機器自体の保全と共に、適正運転がされることが重要であり、そのため専門業者に委託して、各種点検・検査や測定・記録を実施します。
- ・施設、設備、機器の修繕については、区役所に報告するとともに、適切に対応してまいります。

イ 効率的な運営への取組について

- ・白根地域ケアプラザの労務・経理等の事務処理に関しては運営法人本部と役割を分担して効率的な運営を行います。業務の委託や備品購入に当たっては、法人割引等を活用して経費の削減に努めます。
- ・朝礼や職員会議等で職員のコスト意識の高揚を図ります。電力の使用については、こまめな消灯、無駄な機器などの運転をしないことを徹底します。
- ・白根地域ケアプラザ3部門の連携と情報等の共有を図るとともに、職員会議等で効率的な取組について検討して実施しています。
- ・法人内地域ケアプラザ所長会では知恵を出し合うなど効率的な運営に努めます。

ウ 苦情受付体制について

- ・ご利用者及び地域住民の方から、業務遂行上の苦情をいただいた場合、内容は市役所・区役所に書面をもって報告するとともに、真摯な態度で受け止め、誠意をもって対応する姿勢を職員一人ひとりが持てるように対応します。
- ・所長を苦情対応の総括責任者とし、各部門の管理者を苦情受付・解決責任者として、館内に掲示するとともに心のこもった対応と速やかな解決を図るように対応します。
- ・苦情等の内容は記録として残し、原因追及を図ることで、苦情防止となるように分析して、今後の対策を検討し対応します。
- ・地域ケアプラザ情報ラウンジにご意見箱を設置して、自由に記入していただけるように対応します。
- ・運営法人として設置している弁護士等を含む第三者委員会により、重要課題については、連絡、相談し、適切な対応・解決に結びつけられるように体制を整えます。

エ 緊急時（防犯・防災・その他）の体制及び対応について

- ・火災・事故・地震・台風などの災害発生時には、結果回避義務（発生事の対応）に従い、迅速に初期対応を行い、マニュアルに基づき全職員が利用者の安全確保ができるように体制を整えていきます。
- ・ケアプラザの貸館利用者については、災害時の避難誘導の手順、利用者へ火器使用時の注意喚起、爆発物、危険物の持ち込み防止、使用後の清掃、電気ガスの消し忘れ等チェックリストを利用した点検を利用者に周知するとともに、職員も日常的にチェックリストによる巡視点検を行い事故防止対策に取り組めます。
- ・地域の防災訓練、防災講演会、その他の地域行事に参加して、日頃から「顔の見える関係づくり」に努め有事に備えています。
- ・災害時の福祉避難所となっているので、その役割を認識するとともに、備蓄物資を適正に管理しています。
- ・防犯対策は、鍵の管理責任者は所長、開閉は正職員の鍵当番が行い、開閉前後に点検表により全館点検、戸締り等を徹底、夜間等は警備会社（機械警備）と連携して、事故防止に努めます。

オ 事故防止への取組について

- ・事故防止については、法人統一の事故防止マニュアルを使い、対応フロー、連絡体制、報告判断基準も明示します。機器等の取扱いについては日常的に正確な動作を行うことを徹底するとともに、なすべき動作の欠落がないように相互チェックを行い非常事態時に対応できるように体制を整えます。
- ・職員会議等で、事故防止、感染症対策等の取組を検討するとともに、発生したすべての事故を検証して事故の減少に努めます。

カ 個人情報保護の体制及び取組について

- ・白根地域ケアプラザでは、施設利用の方々の多くの個人情報を保有することになるため、「個人情報の保護に関する法律」等の法令、厚労省のガイドライン、横浜市の「個人情報保護条例」を遵守します。
- ・運営法人の「個人情報保護に関する規程」に従って利用者の権利・利益を保護するために、個人情報の適切な取扱いに関し必要な事項を「個人情報保護に関するマニュアル」に定め、職員に対し研修を随時実施していきます。

キ 情報公開への取組について

- ・横浜市の指定管理料等によって運営されている地域ケアプラザの事業は、広く住民に状況が開示されることを当然と受け止め、「指定管理者の情報の公開に関する標準規程」に準じて、適正な対応を行います。
- ・白根地域ケアプラザで発行する広報紙「ふれあい広場」（毎月 1 回発行）で、白根地域ケアプラザの運営状況等を公開しています。また、運営法人のホームページ等で事業の紹介などを行います。介護サービス情報の公表では、神奈川県指定機関による確認を経て開示します。
- ・ケアプラザ窓口にて、事業計画書、事業報告書、予算決算書等を常時備え付け、閲覧に供します。

ク 人権啓発への取組について

- ・白根地区社協が行う地域の小中学校個別支援級の生徒児童を対象にした障害児余暇支援事業の支援に取り組めます。
- ・近隣の地域活動支援センター運営法人と協働して精神保健ボランティアと当事者との交流事業に取り組めます。

ケ 環境等への配慮及び取組について

横浜市は、環境方針において、理念及び基本方針が出されています。公の施設である地域ケアプラザもこれに基づき取り組みます。

【横浜市のごみゼロ「ヨコハマ3R夢プラン」の理解と実践】

- ①リデュース（Reduce）～ごみそのものを減らします
会議資料の両面印刷の励行、不要なファックス表紙の廃止等コピー用紙の無駄を減らします。
施設利用者等の部屋利用については、ごみの発生抑制をお願いしていきます。
（例：使い捨ての割り箸や容器を使わないで、ケアプラザ備え付けの箸や食器を利用させていただく。）
- ②リユース（Reuse）～再利用します
封筒の再利用、不要紙の裏紙の利用等、小さなことでも徹底した取り組みによって、職員にゴミの減量化を意識づけます。
- ③リサイクル（Recycle）～再生利用します
物を最後に廃棄する場合、全職員が手順書に基づいてごみの分別を徹底します。

【電気・ガス等エネルギー使用の削減】

- ①節電対策として、不要な電灯は消灯、各部屋に設置した温度計の室温表示を参考に空調設備の運転は冷暖房の設定温度を夏季 25℃～28℃、冬季 18℃～22℃を目安に設定して温度管理を行います。
- ②ブラインドやサーキュレーターの使用により冷暖房の効率化を図ります。

【建物内外の整備】

- ①運営法人の取組にある5S（整理・整頓・清掃・清潔・躰）1U（美しい）運動を推進して来訪者が気持ちよく活動できる環境を維持できるように取り組んでいきます。
- ②パール横浜白根ビルに出店している他テナントと協働して、ビル共有部分の管理を行います。

介護保険事業

● 指定介護予防支援事業・第1号介護予防支援事業

《職員体制》

管理者 : 常勤1名 (地域包括支援センター主任ケアマネジャーを兼務)
計画作成担当者 : 常勤3名 (管理者兼務1名
地域包括支援センター保健師 兼務1名
地域包括支援センター 主任ケアマネジャー兼務1名)

《目標》

介護保険法等の関係法令に従い、当該担当地域内に居住する利用者に対し可能な限り居宅においてその有する能力に応じて、自立した生活を営むために必要な介護予防サービスが適切に利用できるよう、利用者の選択に基づいて介護予防サービス支援計画書を作成するとともに、当該計画に基づいて適切な介護予防サービスの提供が確保されるようサービス提供事業者及び関係機関等との連絡調整その他の便宜を提供します。

《実費負担（徴収する場合は項目ごとに記載）》

介護予防プラン作成担当者が通常のサービス提供地域を超える地域に訪問、出張する必要がある場合には、その交通費（実費）の支払いが必要になります。

《その他（特徴的な取組、PR等）》

利用者の状態や要望によっては、規定された回数以上の訪問や担当者会議を実施して、利用者の家族と定期的な連絡をとり利用者の状態を適宜把握していきます。

《利用者目標》

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
132	133	130	132	133	134
10月	11月	12月	1月	2月	3月
135	135	134	135	136	138

● 居宅介護支援事業

《職員体制》

管理者 : 常勤 1 名 (介護支援専門員を兼務)
 介護支援専門員 : 常勤 4 名 (専従 3 名 管理者兼務 1 名)

《目標》

- ①ご利用者が住み慣れた地域で、安心して日常生活を営めるように、ご利用者の意向に沿った適切なケアプランを作成します。また、サービス提供事業者のみならず行政機関・医療福祉機関・ボランティア団体等との連携を深め、チームケアによる質の高いケアマネジメントを実践できるように努めていきます。
- ②自治体の委託により、介護保険認定調査を積極的に受託していきます。

《実費負担（徴収する場合は項目ごとに記載）》

- ①居宅介護支援費において、ご利用者負担はありません。
- ②通常サービス提供地域以外の訪問・出張の場合には、交通費（実費）の支払いが必要となります。

《その他（特徴的な取組、PR等）》

- ①地域の方々との顔の見える関係を築き、身近な介護相談の窓口としても、ご利用頂けるようにします。
- ②地域包括支援センター併設の居宅介護支援事業者として、支援困難ケースに対しても地域連携を大切にし、問題解決に向けて積極的に関わっていきます。
- ③24時間連絡体制・研修計画・定期会議等の仕組みを整え、質の高いケアマネジメントを実践できる居宅介護支援事業者を目指していきます。

《利用者目標》

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
106	100	102	104	106	108
10月	11月	12月	1月	2月	3月
110	112	114	116	118	120

● 通所介護・認知症対応型通所介護（対象外）

《提供するサービス内容》

-
-
-

《実費負担（徴収する項目ごとに記載）》

● 1割負担分

（要介護1） 円

（要介護2） 円

（要介護3） 円

（要介護4） 円

（要介護5） 円

● 食費負担 円

-
-

※ その他、実費相当を徴収するものについては、各施設で項目を増やして記載をしてください。

《事業実施日数》 週 日

《提供時間》 : ~ : （半角で入力 例 9:00~15:00）

《職員体制》

《目標》

《その他（特徴的な取組、PR等）》

《利用者目標（延べ人数）》

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
10月	11月	12月	1月	2月	3月

● 介護予防通所介護・第1号通所事業・介護予防認知症対応型通所介護（対象外）

《提供するサービス内容》

-
-
-

《実費負担（徴収する項目ごとに記載）》

- 1割負担分

（事業対象者） 円

（要支援1） 円

（要支援2） 円

- 食費負担 円
-
-

※ その他、実費相当を徴収するものについては、各施設で項目を増やして記載をしてください。

《事業実施日数》 週 日

《提供時間》 : ~ : （半角で入力 例 9:00~15:00）

《職員体制》

《目標》

《その他（特徴的な取組、PR等）》

《利用者目標（契約者数）》

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
10月	11月	12月	1月	2月	3月

平成30年度「横浜市白根地域ケアプラザ」
収支予算書及び報告書(一般会計)＜地域活動＞

収入の部

(税込、単位：円)

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料	15,490,972		15,490,972	15,490,972	0	横浜市より
利用料金収入			0	0	0	この列は入力しない
指定管理料充当 事業	0		0	0	0	
自主事業収入			0	0	0	この列は入力しない
雑入	0		0	0	0	
印刷代	0		0	0	0	
自動販売機手数料			0	0	0	この列は入力しない
駐車場利用料金収入			0	0	0	この列は入力しない
その他(指定管理充当分)	0		0	0	0	
その他(施設使用料相当額 法人負担分)	0		0	0	0	
その他(提案時控除 法人負担分)	0		0	0	0	
収入合計	15,490,972	0	15,490,972	15,490,972	0	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	10,500,000		10,500,000	0	10,500,000	
本俸	8,027,000		8,027,000	0	8,027,000	
社会保険料	952,000		952,000	0	952,000	
手当計	1,425,000		1,425,000	0	1,425,000	
健康診断費	12,000		12,000	0	12,000	
勤労者福祉共済掛金	0		0	0	0	ハマふれんど
退職給付引当金繰入額	84,000		84,000	0	84,000	
その他	0		0	0	0	
事務費	962,743		962,743	0	962,743	
旅費	20,000		20,000	0	20,000	
消耗品費	150,000		150,000	0	150,000	
会議滞在費	5,000		5,000	0	5,000	
印刷製本費	0		0	0	0	
通信費	600,000		600,000	0	600,000	
使用料及び賃借料	0		0	0	0	
横浜市への支払分			0	0	0	
その他			0	0	0	
備品購入費	30,000		30,000	0	30,000	
図書購入費	2,000		2,000	0	2,000	
施設賠償責任保険	2,000		2,000	0	2,000	
職員等研修費	6,000		6,000	0	6,000	
振込手数料	0		0	0	0	
リース料	54,000		54,000	0	54,000	
手数料	0		0	0	0	
地域協力費	5,000		5,000	0	5,000	
その他	88,743		88,743	0	88,743	
事業費	453,429		453,429	0	411,429	
運営協議会経費	42,000		42,000	0	42,000	予算:指定額
指定管理料充当 事業	411,429		411,429	0	411,429	
管理費	2,734,800		2,734,800	0	1,220,000	
建築物・建築設備点検	0		0	0	0	予算:指定額
光熱水費	1,514,800		0	0	0	
電気料金			0	0	0	
ガス料金			0	0	0	この列は入力しない
水道料金			0	0	0	
清掃費	450,000		450,000	0	450,000	
修繕費	474,000		474,000	0	474,000	予算:指定額
機械警備費	106,000		106,000	0	106,000	
設備保全費	190,000		190,000	0	190,000	
空調衛生設備保守	130,000		130,000	0	130,000	
消防設備保守	60,000		60,000	0	60,000	
電気設備保守	0		0	0	0	
害虫駆除清掃保守	0		0	0	0	
駐車場設備保全費	0		0	0	0	
その他保全費	0		0	0	0	
共益費	0		0	0	0	
その他	0		0	0	0	
公租公課	840,000	0	840,000	0	840,000	
事業所税			0	0	0	この列は入力しない
消費税	840,000		840,000	0	840,000	
印紙税			0	0	0	この列は入力しない
その他()			0	0	0	この列は入力しない
事務経費 (計算根拠を説明欄に記載)	0	0	0	0	0	この列は入力しない
本部分			0	0	0	この列は入力しない
当該施設分			0	0	0	この列は入力しない
二一ズ対応費			0	0	0	この列は入力しない
支出合計	15,490,972	0	15,490,972	0	13,934,172	
差引	0	0	0	15,490,972	△ 13,934,172	

自主事業費収入	411,429		411,429	0	411,429	
自主事業費支出	411,429		411,429	0	411,429	
自主事業収支	0	0	0	0	0	⇒自主事業(指定管理料充当の自主事業)費

管理許可・目的外使用許可収入	0		0	0	0	駐車場利用料金・自動販売機手数料収入等法人収入
管理許可・目的外使用許可支出	0		0	0	0	使用料(横浜市への支払等)
管理許可・目的外使用許可収支	0		0	0	0	

平成30年度「横浜市白根地域ケアプラザ」
収支予算書及び報告書(特別会計)

収入の部

(税込、単位：円)

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料(包括)	22,383,431		22,383,431		22,383,431	横浜市より
指定管理料(介護予防)	146,000		146,000		146,000	横浜市より
指定管理料(生活支援)	5,789,000		5,789,000		5,789,000	横浜市より
利用料金収入			0		0	この列は入力しない
指定管理料充当事業(包括)	0		0		0	
指定管理料充当事業(介護予防)	0		0		0	
指定管理料充当事業(生活支援)	0		0		0	
自主事業収入			0		0	この列は入力しない
雑入	0	0	0		0	
印刷代	0		0		0	
自動販売機手数料	0		0	0	0	
駐車場利用料金収入	0		0	0	0	
その他(指定管理充当分)	0		0		0	
その他(提案時控除 法人負担分)	0		0	0	0	
収入合計	28,318,431	0	28,318,431	0	28,318,431	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	25,580,000	0	25,580,000	0	25,580,000	
本俸	16,072,000		16,072,000		16,072,000	
社会保険料	5,173,000		5,173,000		5,173,000	
手当計	4,040,000		4,040,000		4,040,000	
健康診断費	20,000		20,000		20,000	
勤労者福祉共済掛金	0		0		0	ハマふれんど
退職給付引当金繰入額	275,000		275,000		275,000	
その他	0		0		0	
事務費	822,858	0	822,858	0	822,858	
旅費	13,000		13,000		13,000	
消耗品費	142,000		142,000		142,000	
会議賄い費	5,000		5,000		5,000	
印刷製本費	0		0		0	
通信費	235,000		235,000		235,000	
使用料及び賃借料	0	0	0	0	0	
横浜市への支払分	0		0		0	
その他	0		0	0	0	
備品購入費	30,000		30,000		30,000	
図書購入費	5,000		5,000		5,000	
施設賠償責任保険	12,000		12,000		12,000	
職員等研修費	10,000		10,000		10,000	
振込手数料	0		0		0	
リース料	9,000		9,000		9,000	
手数料	0		0		0	
地域協力費	0		0		0	
その他	361,858		361,858		361,858	
事業費	1,187,858	0	1,187,858	0	1,187,858	
協力医	630,000		630,000		630,000	予算:指定額
指定管理料充当自主事業(包括)	102,858		102,858		102,858	
指定管理料充当自主事業(介護予防)	146,000		146,000		146,000	
指定管理料充当自主事業(生活支援)	309,000		309,000		309,000	予算:指定額
管理費	727,715	0	727,715	0	727,715	
建築物・建築設備点検	0		0		0	予算:指定額
光熱水費	402,668	0	402,668		402,668	
電気料金			0		0	
ガス料金			0		0	この列は入力しない
水道料金			0		0	
清掃費	127,047		127,047		127,047	
修繕費	126,000		126,000		126,000	予算:指定額
機械警備費	25,000		25,000		25,000	
設備保全費	47,000	0	47,000	0	47,000	
空調衛生設備保守	33,000		33,000		33,000	
消防設備保守	14,000		14,000		14,000	
電気設備保守	0		0		0	
害虫駆除清掃保守	0		0		0	
駐車場設備保全費	0		0		0	
その他保全費	0		0		0	
共益費	0		0		0	
その他	0		0		0	
公租公課	0	0	0	0	0	
事業所税			0		0	
消費税	0		0		0	
印紙税			0		0	
その他()			0		0	この列は入力しない
事務経費(計算根拠を説明欄に記載)	0	0	0	0	0	
本部分			0		0	
当該施設分			0		0	
二一ズ対応費			0		0	
支出合計	28,318,431	0	28,318,431	0	28,318,431	
差引	0	0	0	0	0	

自主事業費収入	0					
自主事業費支出	0					
自主事業収支	0			0		⇒自主事業(指定管理料充当の自主事業)費

管理許可・目的外使用許可収入				0		駐車場利用料金・自動販売機手数料収入等法人
管理許可・目的外使用許可支出				0		使用料(横浜市への支払等)、駐車場設備保全費
管理許可・目的外使用許可収支				0		

平成 30年度 地域ケアプラザ収支予算書及び報告書<介護保険事業分>

施設名:横浜市白根地域ケアプラザ

平成30年4月1日～平成31年3月31日
(単位:千円)

	科目	介護予防支援			居宅介護支援			通所介護			予防通所介護・第1号通所介護		
		予算	決算	差引	予算	決算	差引	予算	決算	差引	予算	決算	差引
収入	介護保険収入	8343		8343	27185		27185			0			0
	その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	介護予防ケアマネジメント費			0			0			0			0
	事業・負担金収入			0			0			0			0
				0			0			0			0
				0			0			0			0
				0			0			0			0
		その他			0			0			0		
	収入合計(A)	8343	0	8343	27185		27185	0		0	0	0	0
支出	人件費			0	19901		19901			0			0
	事務費	183		183	227		227			0			0
	事業費			0	1092		1092			0			0
	管理費			0			0			0			0
	その他	5814	0	5814	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	利用者負担軽減額			0			0			0			0
	消費税			0			0			0			0
	介護予防プラン委託料	5814		5814			0			0			0
				0			0			0			0
		その他			0			0			0		
	支出合計(B)	5997	0	5997	21220	0	21220	0	0	0	0	0	0
	収支 (A) - (B)	2346	0	2346	5965	0	5965	0	0	0	0	0	0

※ 介護予防プランを他事業者へ委託する場合の取扱は、介護報酬を一旦全額収入に計上した後、他事業者へ委託料として支払う分を支出に計上してください。

※ 上記以外の事業(認知症対応型通所介護等の事業)を実施している場合は、事業ごとに列を増やして同様に記載をしてください。

平成30年度 自主事業収支計画書

横浜市白根地域ケアプラザ

事業名	①募集対象者 ②募集人数 ③一人当たり参加費	自主事業予算額							
		総経費	収入			支出			
			指定管理料	参加費	その他	講師謝金	材料費	その他	
①メディカルサロン(ケアマネジャー編)	①地域ケアマネジャー	800	地活	800	0	0	0	0	800
	②10名定員		包括						
	③¥0		生活						
②高齢期の住まい(施設見学会)	①地域	4,000	地活	0	4,000	0	0	0	4,000
	②8名		包括						
	③¥500		生活						
③防災から地域支援を考える。	①地域	30,000	地活	30,000	0	0	30,000	0	0
	②60名		包括						
	③30,000		生活						
④民生委員児童委員と地域包括支援センターとの連絡研修会	①民生委員児童委員	3,000	地活	3,000	0	0	0	0	3,000
	②20名		包括						
	③¥0		生活						
⑤Smile健康塾2	①高齢者	42,000	地活	42,000	0	0	39,000	0	3,000
	②20名		包括						
	③¥0		生活						
⑥男の体作り教室	①男性高齢者	10,000	地活	10,000	0	0	10,000	0	0
	②5名		包括						
	③¥0		生活						
⑦薬膳料理で健康作り	①高齢者	44,000	地活	26,000	18,000	0	20,000	24,000	0
	②15名		包括						
	③¥300		生活						
⑧認知症サポーター養成講座「映画上映会」	①地域	35,000	地活	35,000	0	0	0	35,000	0
	②50名		包括						
	③¥		生活						
⑨白根夜メロ倶楽部	①高齢者	108,160	地活	160	108,000	0	84,000	4,000	20,160
	②30名		包括						
	③¥300		生活						
⑩まちを知らう！ふるさとウォーキング	①地域	19,680	地活	10,680	9,000	0	15,000	3,000	1,680
	②15人		包括						
	③¥200		生活						
⑪親子でエンジョイ・リトミック	①子ども	81,000	地活	15,000	66,000	0	66,000	0	15,000
	②各20組		包括						
	③¥300		生活						
⑫おやこたいそう	①子ども	72,000	地活	36,000	36,000	0	60,000	0	12,000
	②15名		包括						
	③¥200		生活						
⑬ママヨガ	①親子	91,960	地活	7,960	84,000	0	80,000	8,960	3,000
	②14名		包括						
	③¥300		生活						
⑭シニアライフセミナー「エンディングノート」	①地域	5,000	地活	5,000	0	0	5,000	0	0
	②20名		包括						
	③¥0		生活						
⑮まめっこクラブ	①子ども	94,520	地活	2,720	91,800	0	85,000	0	9,520
	②150名		包括						
	③¥300		生活						
⑯母の日のフラワーアレンジメント	①地域	23,000	地活	500	22,500	0	5,000	18,000	0
	②15名		包括						
	③¥1500		生活						

事業ごとに別紙に記載してください。

平成30年度 自主事業収支計画書

横浜市白根地域ケアプラザ

事業名	①募集対象者	自主事業予算額							
	②募集人数	総経費	収入			支出			
	③一人当たり参加費		指定管理料	参加費	その他	講師謝金	材料費	その他	
⑰Let'sプログラミング	①小学生	14,560	地活	160	14,400	0	6,000	8,000	560
	②16組		包括						
	③¥900		生活						
⑱父の日ハンドメイド教室	①地域	8,060	地活	560	7,500	0	3,000	4,500	560
	②15名		包括						
	③¥500		生活						
⑲和布あそび	①地域	216,000	地活	4,800	211,200	0	84,000	132,000	0
	②22名		包括						
	③¥800		生活						
⑳お習字クラブ	①子ども	209,440	地活	7,840	201,600	0	192,000	4,000	13,440
	②21名		包括						
	③¥400		生活						
㉑にこにこサロン	①乳幼児	6,720	地活	6,720	0	0	0	0	6,720
	②20名		包括						
	③無料		生活						
㉒サロンドウ しらね	①地域	10,038	地活	10,038	0	0	6,678	0	3,360
	②無し		包括						
	③¥0		生活						
㉓初めての御朱印ウォーキング	①地域	5,600	地活	600	3,000	0	0	0	3,600
	②15名		包括						
	③¥300		生活						
㉔はじめての障害児サポート講座	①地域	3,000	地活	3,000	0	0	3,000	0	0
	②15名		包括						
	③¥0		生活						
㉕団体交流会	①地域	5,000	地活	5,000	0	0	0	5,000	0
	②無し		包括						
	③¥0		生活						
㉖楽しく体験！室内スポーツ	①地域	37,680	地活	8,880	28,800	0	30,000	6,000	1,680
	②16名		包括						
	③¥300		生活						
㉗わくわくクッキング！	①小学生	10,060	地活	2,560	7,500	0	5,000	4,500	560
	②15名		包括						
	③¥500		生活						
㉘レッツ！ヒップホップダンス	①小学生	5,840	地活	1,340	4,500	0	5,000	0	840
	②15名		包括						
	③¥300		生活						
㉙あさひプレイパークがやってくる	①子ども	700	地活	700	0	0	0	700	0
	②無し		包括						
	③¥0		生活						
㉚ケアプラ音楽祭	①地域	11,680	地活	11,680	0	0	7,000	3,000	1,680
	②60名		包括						
	③¥0		生活						
㉛ケアプラザ文化祭	①地域	1,560	地活	1,560	0	0	0	1,000	560
	②無し		包括						
	③¥0		生活						
㉜ケアプラザ大掃除	①地域	1,063	地活	1,063	0	0	0	503	560
	②無し		包括						
	③¥0		生活						
㉝クリスマス交流会	①障害者	15,000	地活	0	15,000	0	0	15,000	0
	②50名		包括						
	③¥300		生活						

事業ごとに別紙に記載してください。

平成30年度 自主事業収支計画書

横浜市白根地域ケアプラザ

事業名	①募集対象者	自主事業予算額							
	②募集人数	総経費	収入			支出			
	③一人当たり参加費		指定管理料	参加費	その他	講師謝金	材料費	その他	
⑳賢くアンチエイジング♪	①高齢	18,620	地活	3,620	15,000	0	10,000	7,500	1,120
	②15名		包括						
	③¥500		生活						
㉑パパといっしょ～子どもを守る防災講座～	①子育て	1,560	地活	1,560	0	0	0	1,000	560
	②15組		包括						
	③¥0		生活						
㉒遊書で描く年賀状	①地域	13,000	地活	4,000	9,000	0	10,000	3,000	0
	②15名		包括						
	③¥300		生活						
㉓つるし雛まつり	①地域	1,000	地活	1,000	0	0	0	0	1,000
	②無し		包括						
	③¥0		生活						
㉔ゆいまーる交流会	①障害者	7,500	地活	0	7,500	0	0	0	7,500
	②25名		包括						
	③¥300		生活						
㉕手づくりでクリスマス☆	①子育て	15,160	地活	3,160	12,000	0	5,000	9,600	560
	②15名		包括						
	③¥1000		生活						
㉖歩こう～まちのこと教えて！！	①地域	3,120	地活	2,000	0	0	0	2,000	0
	②10		包括						
	③無し		生活						
㉗夢の漫画家講座	①小学生	6,560	地活	2,060	4,500	0	5,000	1,000	560
	②15名		包括						
	③¥300		生活						
㉘行政書士無料相談会	①高齢者	0	地活	0	0	0	0	0	0
	②各3名		包括						
	③¥0		生活						
㉙司法書士無料相談会	①高齢者	0	地活	0	0	0	0	0	0
	②各3名		包括						
	③¥0		生活						
㉚認知症サポーター養成講座	①地域住民	0	地活	0	0	0	0	0	0
	②20名		包括						
	③¥0		生活						
㉛旭区徘徊SOS協賛店認知症サポーター養成講座	①地域・企業	0	地活	0	0	0	0	0	0
	各15名		包括						
	③¥0		生活						
㉜行政書士サロン	①地域	0	地活	0	0	0	0	0	0
	②10名		包括						
	③¥0		生活						
㉝消費者被害防止講座	①地域	0	地活	0	0	0	0	0	0
	②15名		包括						
	③0		生活						
㉞いきいきけんこう倶楽部	①地域	240,000	地活	0	240,000	0	192,000	0	48,000
	②20名		包括						
	③¥500		生活						

事業ごとに別紙に記載してください。

平成30年度 自主事業計画書

横浜市白根地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
①メディカルサロン（ケアマネジャー編）	目的：ケアプラザ協力医から医療連携に関して、ヒントをいただき、ケアマネジメントに活かせるようになる。 内容：ケアプラザ協力医とケアマネジャーが、事例検討、茶話会を行い、医療連携に必要な情報、項目について理解を深める。	6月/2月 年2回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
②高齢期の住まい（施設見学会）	目的：高齢期の住まいについての情報提供を行い、住まいに関して、多様な選択が行えるように支援する。 内容：特別養護老人ホーム、老人保健施設等をケアプラザ職員と見学し、介護保険の施設、保険外の施設に関して情報を得て頂く。	10月 年1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
③防災から地域支援を考える	目的：白根地域で有事が発生した場合を想定する事から、地域での自助、共助について考え、支援ネットワークを構築していく。 内容：防災講座を白根地区社協と共催し、災害時要配慮者に関し、当事者、支援者共に学ぶ。 学びを活かす振り返りを行い、実際の防災拠点へ災害時要配慮者の避難訓練の実現を目指す。 その後、要配慮者の支援について課題を共有検討し、次年度以降の取り組みへ引き継いでいく。	11月

事業名	目的・内容	実施時期・回数
④民生委員児童委員と地域包括支援センターの連絡研修会	目的：民生委員児童委員と地域包括支援センター職員が、顔の見える関係となり、協働での地域支援へと活かす。 内容：民生委員児童委員協議会の定例会議の場を利用して研修、検討会を実施する。	6月、10月

平成30年度 自主事業計画書

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
⑤Smail健康塾2	<p>目的：年間を通して様々な健康事業を行い、健康維持及び健康意識の向上を図る。</p> <p>内容：口腔、認知症、栄養、ロコモティブシンドロームの介護予防普及啓発事業を行い年間を通して健康増進に努める。</p>	5月～12月 7回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
⑥男の体作り教室	<p>目的：必要な運動、体操を学び筋力の維持、転倒予防へ繋げることができ、加えて新たな地域との関わりを持つことが出来る。</p> <p>内容：理学療法士に座学、個々へアセスメントを行って頂き、よりその人にあった筋力の維持、転倒予防へ啓発を図る。</p>	5月、10月 2回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
⑦薬膳料理で健康作り	<p>目的：年に4回の薬膳料理体験を行い楽しく交流を交え効率のいい栄養補給を学ぶことができる。</p> <p>内容：栄養士から薬膳の効果、効能を学び一緒に料理をすることで新しい交流、薬膳への興味を高め効率のいい栄養補給方法を学ぶことが出来る。</p>	4月、7月、9月、1月 4回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
⑧認知症サポート養成講座「映画上映会」	<p>目的：アルツハイマーデイ月間に「認知症に関する映画」の上映を行い広く多世代に認知症への関心を深める。また参加者に認知症サポーター養成講座を実施することで、認知症への正しい理解を普及する。</p> <p>内容：映画上映前に約1時間のサポーター養成講座を実施し、認知症への偏見・正しい対応・病理・サポーターの役割を理解いただく。映画で関心を深め、終了後にアンケートを実施し、地域での活動の担い手を模索していく。</p>	9月1回

平成30年度 自主事業計画書

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
⑨白根夜メロ倶楽部	<p>目的：3年目に入る講座となり、近隣からの参加者の方が多かったが、最近は地域の高齢者の方の関心も多くなり、男性の生きがい作り、居場所になるようもう一年をかけて自主化につなげる。</p> <p>内容：講師のアコーディオン伴奏に合わせて男性が親しんできたロシア民謡やフォークソングや合唱曲などを選曲したこだわりの歌声サロンとする。</p>	月1回/12回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
⑩まちを知ろう！ふるさとウォーキング	<p>目的：高齢者のひきこもり防止に外に出る機会をつくり、ウォーキングを通して健康作りと仲間作りの場を提供する。</p> <p>内容：5月は、まちを知ろう！ふるさとウォーキングvol.8で雨天中止となったコースを実施する。</p>	5月、11月、3月各1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
⑪親子でエンジョイ・リトミック	<p>目的：音楽に合わせて体を動かすことで、身体と心の成長を促すと共に、親子、地域のコミュニケーションを築く。</p> <p>内容：講師を依頼。ピアノに合わせて、楽器（カスタネット等）を使って歌ったり踊ったりすることで、リズム感を養う。</p>	月1回/12回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
⑫おやこたいそう	<p>目的：親子一緒に体を使った体操や運動を楽しむことで、子どもの体力向上や親子間でのコミュニケーションを向上させる。</p> <p>内容：楽しく身体を動かす。遊びを通して成長に必要な動きの基礎を身に付ける。</p>	月1回/12回

平成30年度 自主事業計画書

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
⑬ママヨガ	目的：お母さんの産後ケアと赤ちゃんとのふれあい。講座を通じてママ同士の交流を作り、仲間づくりのきっかけとしてもらう。 内容：ヨガレッスン、交流タイム（お茶とお菓子を用意）	5月～31年3月 16回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
⑭シニアライフセミナー「エンディングノート」	目的：旭区版エンディングノートの普及啓発。 内容：地域住民に対し終活の一環として全2回の講座を実施する。講師の講義を聞きながら実際にエンディングノートの記入を行い、老後の計画を立てながら、成年後見等の普及を行う。	7月・8月(2回)

事業名	目的・内容	実施時期・回数
⑮まめっこクラブ	目的：都市化・少子化による生活様式の変化で遊び場、遊び仲間、遊ぶ時間が減少している子ども達に、身体を使って遊ぶことの楽しさとコミュニケーションの取り方を知ってもらう。 内容：ボール等の用具を使い全身運動を行い、体力・運動機能の向上を図る。簡単なゲームを取り入れルールやコミュニケーションの取り方を学ぶ。また、全身運動を行う事で、状況判断や創造性促進の手助けをする。	年間17回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
⑯母の日のフラワーアレンジメント	目的：子育て世代ファミリーを中心に、幅広い世代間の交流を図る。 内容：アレンジメント作成	5月1回

平成30年度 自主事業計画書

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
⑰Let's プログラミング	<p>目的：夏休みを使って、普段あまり利用のない小学生にケアプラザを知ってもらおう。 夏休みの居場所づくりとする。 また、出来るだけ親子で参加してもらい、親子、地域の交流の場とする。 内容：タブレットの使い方の学習とタブレットを使ったゲームやイラストの作成</p>	8月1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
⑱父の日ハンドメイド教室	<p>目的：子供にも大人にも人気のレジンをを使ったキーホルダー作りを通して、世代間交流を図る。 内容：レジンを液を使ったキーホルダー作り</p>	6月1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
⑲和布あそび	<p>目的：手や指を使う手芸を通して楽しみながら脳を刺激し健康を維持、介護予防に繋げる 内容：参加者の希望も聞きながら 講師に材料を用意して頂き進める。</p>	月1回/12回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
⑳お習字クラブ	<p>目的：地域の子育て支援と習字を通して日本古来の伝統である毛筆文化を継承すると同時に、小・中学生を持つ家庭にケアプラザを周知するきっかけとする。 保護者や子供達のニーズに合わせ、目的意識をもって意欲的に取り組める場を提供する。 内容：習字初めての幼児から学校の書写授業をしている小・中学生が書道に親しみ、基本の筆使いや字形の整え方などを学んでいくとともに、希望者には級の認定も行うことで励みとなり、意欲的に取り組めるような内容とする。</p>	4月～3月 月2回 計24回

平成30年度 自主事業計画書

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
①にこにこサロン	<p>目的：子育て支援として親子また参加者同士の交流の場の提供。参加者やボランティアさんから、担い手を探し、ゆくゆくは地域主導の自立化を目指す。</p> <p>サロンも3年目に入り、発展として11月に「ママと子どものフェスティバル」（仮称）を開催予定。</p> <p>内容：読み聞かせとミニイベント等を開催し参加者間、ボランティアとの交流を行う。</p>	月1回/12回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
②サロンドゥしらね	<p>目的：団塊の世代の方々の元気サポート。外出のきっかけ作り、ケアプラザに足を運んで頂く。身近な地域参加の糸口として頂く。</p> <p>内容：①1970年代の唄をギターに合わせて歌い声を出して頂く。②ボランティア講師を招き折り紙を折る時間を設ける。③フリーコーナーの提供</p>	4月～9月/6回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
③初めての御朱印ウォーキング	<p>目的：外へ出るきっかけづくり。体を動かし街に出る喜びや、共通の目的を持つ仲間の楽しみを感じてほしい。これからも先、自分らしく生活ができるよう、地域包括支援センターと地域活動交流がそれぞれの役割を持ち共催し行う事で、健康促進、地域との繋がりを支援していきたい。</p> <p>内容：【第1回】御朱印帳づくり①自己紹介②キットを使って作成③遊書の会の講師指導でオリジナル文字「御朱印帳」作成④作品について発表⑤次回の案内【第2・3・4回】ウォーキングと交流①全5か所の神社、寺で御朱印を頂く。その際法話を受ける。②休憩を地域のカフェで行い交流を図る。③参道散策④お疲れ様会（ランチ）を行い自立へと繋いでいく。</p>	4月～7月の4回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
④はじめての障害児サポート講座	<p>目的：障害児の理解を深め、地域で支え、繋がりを持つ為の第1歩とし、同時に、現在行っている余暇支援でのボランティアを増やすことを目的とする。</p> <p>内容：</p> <p>①白根地区社会福祉協議会会長よりはじめのあいさつ</p> <p>②1部：子供はみんな一緒、安心して過ごせるように。「講師 白根学園ぶどうの実 鈴木希氏」</p> <p>③2部：なかよし活動について。「当事者家族なかよしメンバー」</p>	5月 1回

平成30年度 自主事業計画書

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
㉕団体交流会	<p>目的：・シニアボランティアポイントについての説明 ・施設利用方法についての説明 ・交流会</p> <p>内容：団体Ⅱと団体Ⅰに分けて行う。</p>	6月、7月に2回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
㉖楽しく体験！ 室内スポーツ	<p>目的：高齢者のひきこもり防止と仲間づくりの場を提供し、室内スポーツを通して健康の維持、健康意識の向上をはかる。</p> <p>内容：室内で手軽に出来る軽スポーツを紹介し、体験出来る場を提供する。</p> <p>体力に自信のない人でも動けるような内容のスポーツを選定することで、負担にならずに楽しく運動する。また、講師の他、そのスポーツで活動しているサークルにボランティアを依頼し、仲間づくりや継続希望者への受け皿とする。</p>	<p>7～8月 2回</p> <p>12～1月 4回</p>

事業名	目的・内容	実施時期・回数
㉗わくわくクッキング！	<p>目的：料理を作る楽しさと、食事の大切さを学びながら食育に繋げ、こども同士で調理する事によって他学年とのコミュニケーションを図る。</p> <p>内容：家庭にある材料を使い、子供自身で作れる料理を学ぶ。調理法を簡単にすることで達成感と自信を与える。</p>	8月 1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
㉘レッツ！ヒップホップダンス	<p>目的：夏休み、学年を超え運動を楽しむことで触れ合い交流を深める。</p> <p>内容：ヒップホップダンスの基礎、リズムのアップ、ダウン取り、簡単なステップの基礎を経験する。</p>	7月 1回

平成30年度 自主事業計画書

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
⑳あさひプレイパークがやってくる	目的：親子で気軽に参加、交流や仲間づくりを支援 内容：あさひプレイパークとの共催。プレイリーダーや世話人と共に楽しい時間の共有と仲間づくりやリフレッシュする場の提供	7・12月 2回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
㉑ケアプラ音楽祭	目的：ケアプラザで活動している音楽系団体の発表の場とし、サークル間の交流をはかるとともにサークルの活動を知ってもらい、またケアプラザを周知するきっかけとする。 内容：日頃の活動の成果を発表する機会とし、各サークルや多くのボランティアさんにも協力してもらい、皆で音楽祭を作り上げて成功させる体験を味わう。	9月 1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
㉒ケアプラザ文化祭	目的：ケアプラザで活動している音楽祭の団体の発表の場とし、サークル間の交流をはかる。 内容：日頃の活動の成果を発表すると同時にサークル間の交流、また活動を知ってもらう機会とする。	9月 1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
㉓ケアプラザ大掃除	目的：利用団体向けのボランティア活動 内容：調理室は調理室を使用している団体を中心に行い、他は多目的室、ボランティアルーム、地域ケアルーム、玄関ホール、廊下、相談室など1時間を目安に行う。箇所、道具の説明をし終了時間を伝え一任をする。	年 2回

平成30年度 自主事業計画書

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
③③クリスマス交流会	<p>目的：障がいのある当事者との交流を目的とし地域での居場所としての役割を持つ</p> <p>内容：精神保健ボランティア講座受講者をケアプラザ内の事業とつなぎ、地域に根差したボランティアとしての活動へ促進することと、当事者も企画の段階から参加し双方の交流を図りながら新たな居場所を作る。参加者全員での食事と交流会。</p>	12月 1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
③④賢く「アンチエイジング♪」	<p>目的：高齢者を中心に食（栄養）と運動の両面からアプローチし、美容と健康の意識を高める。</p> <p>内容：関心は高いが取り入れ方が難しい「雑穀」を取り入れ、座学を含めながら調理法を学ぶ。運動面ではストレッチ等でボディラインを整える。どちらも家庭で継続できる事を目的とする。</p>	11月 2回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
③⑤パパといっしょ～子どもを守る防災講座～	<p>目的：子育て家庭を支援するとともに父親を巻き込んだ地域の繋がり場とする。</p> <p>内容：家庭で出来る防災を学ぶことで、家族の命や財産を災害から未然に防ぐことが出来るような知識を身に付けるとともに、家族の安全への意識付けを行う。</p>	9月 1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
③⑥遊書で描く年賀状	<p>目的：日本の伝統文化である毛筆を使い「書」に親しみ、地域の仲間づくりと交流をはかる。</p> <p>内容：毛筆の基本的な筆使いと遊書の表現方法を学び、遊書を用いて年賀状を作成し、個性溢れる作品づくりをする。</p>	11月 2回

平成30年度 自主事業計画書

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
③⑦ つるし雛まつり	<p>目的：利用団体の協力を得てつるし雛などを展示し、地域の方の交流とケアプラザが居場所となれることの認識をもって頂く。</p> <p>内容：昨年度の自主事業で作成した粹飾りと利用団体の協力のもと制作しているつるし雛和風小物を展示する。</p>	2月 1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
③⑧ ゆいまーる交流会	<p>目的：地域の作業所で当事者の方々との交流を持つ。</p> <p>内容：白根夜メロ倶楽部の参加者と講師の福田先生と地域の作業所「ゆいまーる」へ出向き、「ゆいまーる」で活動していらっしゃる当事者さんにはお仕事としてコーヒーを提供して頂きその後は一緒に歌を歌い交流する。</p>	10月 1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
③⑨ 手づくりでクリスマス☆	<p>目的：季節に合わせ、クリスマスリースを作成する事で「物作り」の楽しさを知る。親子での参加も可能とする事で、交流のきっかけ作りを促進。</p> <p>内容：ドングリや松ぼっくりを用い身近にあるものでリースを作る。</p>	12月 1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
④⑩ 歩こう～まちのこと教えて！！	<p>目的：地域アセスメント作成の為。</p> <p>内容：各地域で募集をかけ、集まった方々とその地域について話し合いを行い実際に歩いて、マップをつくる。</p>	10月～3月・5回

平成30年度 自主事業計画書

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
④①夢の漫画家講座	目的：夏休みの子どもの居場所づくり、仲間づくりの場とする。 内容：現役少女漫画家から漫画の世界や製作方法を学び、実際に漫画を書いて批評してもらうことで、子どものあこがれの仕事にチャレンジする。	7月 1回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
④②行政書士無料相談会	目的： 相続・遺言・成年後見の理解と普及啓発。高齢者の権利擁護の相談場所としての周知。 内容： 相続・遺言・成年後見を内容とする定期的な相談会を行政書士（コスモス成年後見サポートセンター）と年度内に2回実施予定。	4月・2月(2回)

事業名	目的・内容	実施時期・回数
④③司法書士無料相談会	目的：相続・遺言・成年後見の理解と普及啓発。高齢者の権利擁護の相談場所としての周知。 内容：相続・遺言・成年後見を内容とする定期的な相談会を司法書士(村田由美子総合事務所)と年度内に2回実施予定。	6月・2月(2回)

事業名	目的・内容	実施時期・回数
④④認知症サポーター養成講座	目的：認知症に対する理解ある地域を目指して認知症という病気の啓発。見守りの仕方等の習得。 内容：認知症キャラバンメイト等による認知症サポーター養成講座の開催。講座に参加した人の中から認知症の方の応援のためにサポーター組織を模索する。	8月1回 その他地域の要請に応じ随時

平成30年度 自主事業計画書

事業名	目的・内容	実施時期・回数
④⑤旭区徘徊SOS協賛店 認知症サポーター養成講座	<p>目的：旭区徘徊SOS協賛店に対し、認知症サポーター養成講座を実施し、従業員の方々に認知症を正しく理解して頂く。また通常業務の中で、対象の等への支援に結び付ける。</p> <p>内容：地域包括支援センターと生活支援コーディネーターとが協働し当該店舗にて全4回の出張講座を開催。前2回は従業員向けに実施、後2回は協賛店近隣の地域に声掛けを行い、地域の方々も交えた講座とする。地域のサポーター分布図を作成。サポーターによる協議体を開催予定。</p>	前4月5月2回 後9月10月2回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
④⑥行政書士サロン	<p>目的：成年後見制度や相続問題に対し、地域住民の方々に身近に感じて頂き、総合相談窓口の周知と、成年後見制度の普及を行っていく。</p> <p>内容：普段敷居が高く感じてしまう、法律職と地域住民との垣根を取り払い、気軽にコミュニケーションを図りながら、成年後見等の制度を広く普及させる。</p>	8月(1回)

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
④⑦消費者被害防止講座	<p>目的：地域住民に対し、消費者被害(オレオレ詐欺・マルチ商法)を普及啓発し、被害を防止する。</p> <p>内容：旭警察生活安全課の協力を得ながら、旭区内で直近に起こった事案等を解説いただき、地域住民に防犯への備えをして頂く。</p>	12月(1回)

事業名	目的・内容	実施時期・回数
④⑧いきいき けんこう倶楽部	<p>目的：高齢者の引きこもり防止と仲間作りの場の提供 健康維持及び健康意識の向上。</p> <p>内容：適度な運動による身体機能の維持や向上と、レクリエーションを通じて脳の活性化とコミュニケーションの活性化を図る。</p>	4月～3月 毎月2回